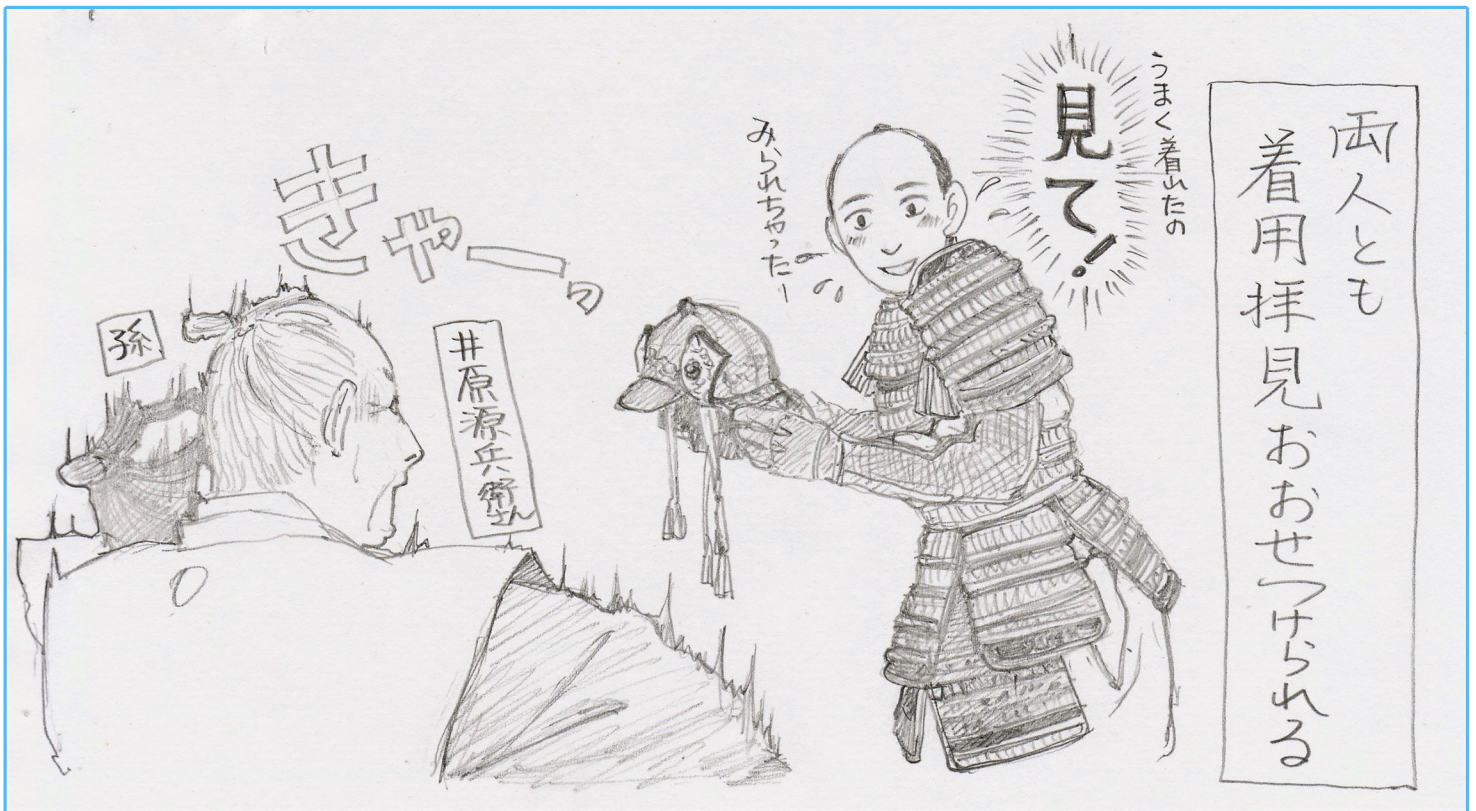


20歳

弘化4年(1847)1月11日

具足餅 飾った具足を着用す

武家社会では毎年1月11日に具足(甲冑)を飾って、その前に鏡餅を供える「具足餅」の儀式が行われていました。福井藩ではこれを執行するのは義経流軍学師の井原家。この年も無事儀式を終え、井原源兵衛とその孫が片付けにきたところ…なんと春嶽は飾っていた具足を着用しているではありませんか。なおかつ、着用の様子の「拝見」を井原や御側用人に命じたようです。



左:井原司馬助, 中:井原源兵衛, 右:松平春嶽(20歳) 画:みなせ @ambujam10



みなせ
@ambujam10



本日の真夜中鉛筆落描きメモ。弘化4年福井藩正月の具足餅祝の日、行事が無事に終わり井原源兵衛さんとその孫が御座所に飾られた具足を片付けにやってきたところ具足を着用している不審人物が。正体は20歳のお殿様・松平慶永公。その後側用人達他にも拝見仰付られる…得意の鎧着用披露(*´艸`)

Note

- ・井原源兵衛…藩の義経流軍学師。春嶽はこの井原老人から多くの昔話を聞かされている。
- ・御座所…藩主の居住空間。
- ・側用人…御用人のうち、藩主に近侍する御側役を務めた職名。
- ・得意の鎧着用…13歳の具足初以来、御召試を繰り返し、暗闇でも着用できるようになっていた。



2021年11月10日